



みなさんと議会をつなぐ



議会だより

平成 29 年 8 月
発行：比布町議会
編集：議会広報特別委員会

PIPPU TOWN ASSEMBLY



だるまさん、ぼく早いでしょ！ くるみ保育園うんどうかい 7月9日

- 審議結果「6月定例会」…………… 2～3
- ここが聞きたい！一般質問…… 4～5
- 議員研修会報告／表彰・受章… 6～7
- 委員会の活動報告…………… 8～11
- 議会のうごき…………… 12

次のとおり決まりました 6月定例会

第2回町議会定例会は、平成29年6月16日(金)に開催しました。平成28年度比布町継続費及び繰越明許費繰越計算書についての報告をはじめ、農業委員会委員の任命、比布町税条例等の一部を改正する条例など議案17件の提出があり、原案のとおり可決されました。

一般質問には、2人の議員から町の課題についての質問が出され、町長の考え方や方針を問いました。

その概要をお知らせします。

報告

◆平成28年度比布町継続費繰越計算書

地方自治法の規定に基づき、報告するもので、一般会計の比布中学校改築事業13億2300万円を、28年度から翌年度までの継続事業とする報告がありました。

◆平成28年度比布町繰越明許費繰越計算書

地方自治法の規定に基づき、報告するもので、一般会計予算の住民基本台帳ネットワークシステム事業、経済対策臨時福祉給付金給付事業、米穀等生産振興事業で、計17億8649万円を29年度に繰り越して執行する報告がありました。

人事

◆農業委員会委員の任命

任期満了による農業委員会委員について、農業委員会委員等に関する法律の改正により、従来の農業者等による推薦方式から市町村長による任命制となったことに伴い、次の11人の方々を任命しました。

※敬称略

- ・山口 剛志 (6区)
- ・佐藤 芳隆 (21区)
- ・齋藤 則雄 (14区)
- ・御田 正寛 (5区)
- ・上西 彰一 (4区)
- ・小野 明男 (8区)
- ・信濃 和子 (新町)
- ・武藤 加代子 (11区)
- ・出口 孝一 (11区)
- ・杉山 和行 (3区)
- ・中本 諭 (1区)

条例改正

◆比布町税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正に伴う改正で、原案のとおり可決されました。

《町民税の主な改正点》

- ①個人住民税の所得割の課税方式の見直し
- ②個人住民税の配当割額または株式等譲渡所得割額の控除の見直し
- ③法人町民税の申告納付及び不足税額の納付手続きの見直し
- ④控除対象配偶者の定義規定の見直し
- ⑤肉用牛の売却による事業所得に係る町民税の課税の特例の改正
- ⑥長期譲渡所得に係る町民税の

課税の特例の改正

《固定資産税の主な改正点》

- ①被災代替家屋・償却資産に係る固定資産税の課税標準の特例措置の創設
- ②待機児童解消のための受け皿整備に係る固定資産税の課税標準の特例措置の創設及びわがまち特例の導入に伴う改正
- ③区分所有に係る家屋に対して課する固定資産税の改正
- ④共用土地に係る固定資産税の改正
- ⑤被災住宅用地に係る固定資産税の特例措置の改正
- ⑥緑地化推進法人等による市町村民緑地に係る固定資産税の特例措置及びわがまち特例の導入に伴う改正
- ⑦新築住宅等に対する固定資産税の減額の適用を受けようとする者がすべきものが対象で、平成29年4月1日から適用

《軽自動車税の主な改正点》

- ①軽自動車税のグリーン化特例(軽課)の2年延長に伴う改正及び賦課徴収の特例新設
- ②現行の軽自動車税の名称が種別割へと変更となったことに伴う改正

◆比布町国民健康保険条例の一部を改正する条例

平成29年度税制改正の大綱において、国民健康保険税の軽減措置について、5割軽減及び2割軽減の対象世帯に係る所得判定基準を改正することとされたことに伴い、国保条例の一部を改正するもので、原案のとおり可決されました。

補正予算

◆平成29年度比布町一般会計補正予算(第2号)

町のインターネットメール無害化対策に伴う情報化促進事業155万円、蘭留広場管理事業19万円が主な増額で、原案のとおり可決されました。

◆平成29年度比布町国民健康保険特別会計補正予算(事業勘定)(第1号)

所得判定基準の改正に伴い、76万5千円を増額するもので、原案のとおり可決されました。

◆平成28年度比布町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

決算見込みによる繰越金6万

6千円を増額するもので、原案のとおり可決されました。

◆平成29年度比布町介護保険特別会計補正予算(第1号)

介護保険事業準備基金積立金693万円、償還金利子及び割引料517万6千円の増額が主なもので、原案のとおり可決されました。

第3回臨時会

5月 8日

◆専決した事件の報告

平成29年3月30日に発生した除雪作業車両の接触事故による7万7174円の賠償報告(損害保険適用)

◆みどり町団地B棟建築主体工事請負契約の締結

東団地の移転建て替え住宅、みどり町団地B棟の工事請負契約の締結について、原案のとおり可決されました。

◆配水流量計更新工事請負契約の締結

給水施設の配水流量計の老朽化に伴う更新工事請負契約の締結について、原案のとおり可決

されました。

◆財産の取得

除雪作業車両(トラック)の老朽化に伴う更新購入契約の締結について、原案のとおり可決されました。

●●●●● 各会計補正額と補正後の総額 ●●●●●

会計区分	補正額	補正後の総額
一般会計(第2号)	1,207千円	4,685,507千円
特別会計		
国民健康保険(第1号)	765千円	668,289千円
後期高齢者医療(第1号)	66千円	61,786千円
介護保険(第1号)	13,313千円	598,313千円

() 内は補正回数



みなさんも比布町議会を傍聴しませんか

次回の議会定例会は9月に開会の予定です。くわしい日程は、無線放送等でお知らせしています。

○財産の取得

2件

第1回大雪消防組合議会臨時会

6月 14日

○愛別町外3町塵芥処理組合組合長の選挙

第1回愛別町外3町塵芥処理組合議会臨時会

5月 22日



Q

比布町の福祉政策について

A

互助・共助・公助のサービスの必要な人に提供できるよう環境整備を行う

植西議員 厚労省のホームページで福祉の理念を検索しますと「地域における「新たな支え合い」を求めて、住民と行政の協働による新しい福祉」という平成19年作成の文書が目にとまりました。

そして、昨年から比布町に共助（支え合い）の仕組みを考える組織として生活助け合い協議会「びっぷの和」ができました。私も参加していますが、「個人情報」があり、びっぷの和での情報共有が難しくなっています。

住民の不安を解消するため、福祉対象者の把握と情報共有による共助の取り組みが必要だと思いますが、町長の考えをお聞かせください。

伊藤町長 厚労省の文書については、全体的な方向性として、個人の尊厳を尊重する視点から、個々人の生活全体に着目し、できる限り地域の中で、その人

らしい暮らしができるような基盤整備を目指すものであり、現在進められている「地域包括ケアシステム」の土台となっています。

個人情報については、体制やルールを整えば情報連携も可能ではありませんが、現在進めている避難行動要支援者制度による要支援者台帳の作成にあたっては、登録を拒否される方もいる現状（対象者のうち、登録者は約45%）があります。拒否される方もいることを考えますと、福祉対象者のリスト化や個人情報共有を以前に「心の壁」を越えることは、とても難しい課題だと考えます。

今後は、町民一人ひとりの努力（自助）、住民同士の相互扶助（互助・共助）、公的な制度（公助）の連携が重要ですので、いざゆかに限定することなく、互助の発想を持ってサービス提供や、対象者への対応を考えてま

います。

植西議員 法令を読むと個人情報であっても本人が希望した場合には共有できることが書かれています。

また、人を助ける行為が処罰の対象にならないということは刑法に規定されている原則的なものですので、すべての支援対象者を把握し、そのニーズを調査する必要があると思います。考え方を聞かせください。

伊藤町長 情報の共有は、現実的には「守る」ということでは、多くの人が情報を共有していることが望ましいですが、対象者のデリケートな問題というのは、必要最小限の人が情報を持つているということがよいのではないかと思っています。

また、びっぷの和では、一人ひとりの状況を把握しながら議論をしていく組織ではないと思っていますし、びっぷの和の皆さんが個人情報全部知らな

ればいけないというものでもないと考えます。

支援対象者の把握とニーズ調査については、地域包括支援センターや保健係、移住・定住ニーズ調査、旭川大学の学生調査、小地域ネットワークの独自調査など、さまざまな方法で行っていますし、必要に応じて警察、消防、社会福祉協議会、行政区長、町などが情報を共有しています。

植西議員 他町や他地域からの転居者が、地域の支え合い活動である「ふまねっと運動」のような活動を行政区単位で行われていると誤解をしている人がいるため、参加することをうちよざされているように聞いています。

他地域にも参加できること、また、参加するにはどういったルールがあるのかを広報されていますか。

伊藤町長 行政区単位に限定しているわけではありませんが、受け入れ側の都合もありますので、その部分の調整をしながら「どの地域でも参加できる」ことを広報し、多くの人に参加してもらえよう形をつくっていきたく考えます。



遠藤議員

政府の経済財政諮問会議は、6月に閣議決定予定の基本方針「骨太の方針」にさらなる医療費削減の見直しを議論しています。ビタミン剤や強壮剤は、全額患者負担（10割負担）、再診なしに薬局の判断だけで薬を出せる「リフィル処方箋」の導入も求めています。

この見直しの内容は、医療費削減・抑制で大幅な国民負担を求め、薬代値上げや個人負担の増大になり、一方では医療産業の大も上げにつながる中身です。比布町として、平成27年度改訂の影響の検証をされましたか。医療・介護保険の見直しの中で、町民の生命をどのように守っていくのか、町長に伺います。

伊藤町長

高齢化の進展に伴い、慢性疾患の増加で疾病構造も変化し、医療ニーズについては、病気と共存しながら、生活の質（QOL）の維持・向上を図っていく必要性が高まっています。

Q

医療・介護の一斉改悪で

地域医療をどう守っていくのか

A

しっかりとしたルールを定めて行えば、地域医療を守ることができる

ています。人口構造が変化していく中で、医療・介護保険制度については、給付と負担のバランスを図りつつ、持続可能性を確保していくことが重要です。安心して暮らせる住まいの確保や自立を支える生活支援、疾病予防・介護予防等との連携も必要です。

国レベルの制度改正に基づくものであり、超高齢社会の国全体が抱える医療・介護の問題については多くの課題が山積していることを強く感じています。

かかりつけ医を持ち、健康管理をする総合病院と地域の病院等の役割分担について、リフィル処方箋など、どちらもしっかりととしたルールを定めて行えば適切な医療費の抑制につながり、患者負担の増にはならないのはどの認識を持っています。

検証してみると、改革に前進していく意図がより明確に込められた中身とも理解され、国の

将来を見据えた国民皆保険制度の持続性の確保と日本の介護が目指す将来像である「地域包括ケアシステム」の構築であり、今後も国の改革の動向を見守っていききたいと思います。

この一体改革によって、本町としてただちにサービスの見直しが行われ、利用者にも都合が生じるような問題は現状では特段ないと思っています。

遠藤議員

町としても社会保険全体の予算を増やしていくことが大事だと思っておりますが、これについての考えは。

伊藤町長

保険制度の基本は相互扶助の精神です。

消費税の議論もされ、国民の皆さんに負担をしていただかなければ財源は出てこないと思います。

限度はあると思いますが、負担をできる方には負担をしています。ただきたいの思いは持っています。

指定管理者や委託にすることで地方交付税を増額する「トップランナー方式」の影響について

遠藤議員

国の交付税が減らされれば、自治体の標準的行政を保障する機能が奪われ、暮らしが成り立たなくなります。今後、指定管理や民間委託を進めていきますか。また、地方交付税の総額確保のためには、地方交付税の法定率の見直しと、国・地方を通じた税制改革が必要であり、納得のいく交付税措置が必要ではないでしょうか。地方交付税が減らされれば影響が出る事業が出てきますが予定どおりに進めていくのか伺います。

伊藤町長

地方交付税にトップランナー方式が導入されたからといって、民間委託などの推進を加速化する考えは持ち得ていません。今後、地方交付税が減額になれば、事業への影響は避けられないと考えています。建物が増えてられない、修繕が遅れるなどの影響が出てくる可能性が高く、我慢できるものは我慢をしていただくことも考えられ、総体的に影響が出る可能性があると思っています。

北海道町村議会 議員研修会を終えて

と き 平成29年7月4日（火）
ところ 札幌コンベンションセンター

7月4日の議員研修会に出席してきました。
全道から約1800人の議員が集まり、慶應義塾大学経済学部教授金子勝氏「トランプ政権と日本経済—地域経済への影響は」、並びに日本放送協会解説副委員長島田敏男氏「日本経済の昨日・今日・明日」の2つの講演を聴講いたしました。

お二人ともテレビで活躍され、日頃から扱っているテーマを熱く講義されていました。

日本のおかれている経済状況が地方にどのように影響するのかを語られた金子教授は、「国が変わらないからといって待っていてもダメ。地方は若い担い手に引き継いでいけるような仕組みづくりを急いでほしい」と話されていました。

また、島田氏は首相の任期や衆議院の任期を踏まえた政治の見通し、さらにその支持率がどのように変化していくのかを予測しながらそれがどのように地方に影響するかを考えていきたいと思いますとお話でした。

議員研修会は我々議員にとって、地方創生を読み解く鍵になります。

地方交付税交付金の先行きはどのように変化していくのか、特別な交付金はどのような考え方で地方に交付されるのか、また国民保険の制度改革、



消費税の変動予測、そして高齢化社会に欠かせない介護の問題を国政レベルと交えて勉強する良い機会です。

今回、聴講した講演を踏まえ、よりいっそう地方自治体が施策に工夫を重ね、費用対効果を今以上に良好にし、そして住民が地方議会を含め政治を監視し、未来を任せられる相手に1票を託すことがよりよい社会をつくっていくことを確信いたしました。

我々議員は、これらのことをわかりやすく住民に伝える義務があります。そして未来の住民自治を若者に託せるよう真剣に創生する時期が来ていることを確信したのであります。

植西 浩一



慶應義塾大学経済学部教授
金子 勝氏

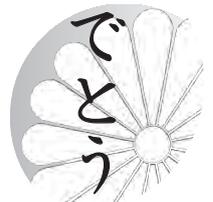


日本放送協会解説副委員長
島田 敏男氏



表彰×受章

おめでとうございます



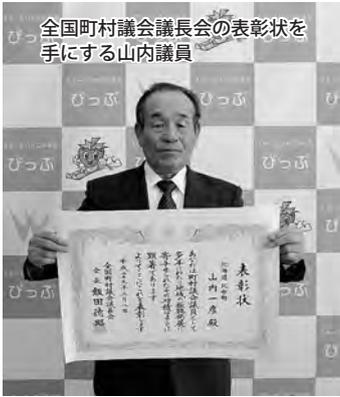
町議会議員

山内一彦さん

平成29年の町議会議員自治功
労者として、山内一彦議員が全
国町村議会議長会及び北海道町
村議会議長会から、表彰されま
した。

山内議員は、平成5年から11
年までの5年6か月、その後、
19年から現在までの通算15年以
上の長きにわたり、本町の議会
議員として地域振興に尽くされ
ています。

この間、平成7年には、総務
常任委員会副委員長を、27年に



は、産業建設常任委員会副委員
長及び議会運営委員長を務め、
その豊富な経験を生かし、現在
も地域づくりに情熱を注いでい
ます。

表彰に際し、山内議員は、「長
年務められたのは、皆さんのご
支援があつてのこと。これから
も、愛する地域のため、皆さん
のために、全力で頑張ります」
と力強く、新たな決意を述べら
れました。



前町議会議員
久保田正義さん

平成29年春の叙勲で、前町議
会議長の久保田正義さんが、旭
日双光章を受章しました。

久保田さんは、平成7年から
5期20年を町議会議員として務
められ、15年からの4年間を町
議会副議長として、23年からの
4年間を町議会議長として、こ
れまでの豊富な経験と実績のも
と手腕を発揮し、町政発展に多
大な貢献をされました。

この間、平成11年から企画建
設常任委員会委員長を、19年か
らは産業建設常任委員会副委員
長を務められました。

また、住民目線の活動を展開
し、特に基幹産業である農業を
中心とした産業振興に力を注い
でこられました。

さらなるご活躍をお祈りしま
す。



受章を祝う会でお礼のあいさつを述べる久保田正義さん

6月22日(木) 月形町議会視察来町



町立びっぶクリニック内での説明の様子

平成29年6月22日、空知管内
の月形町議会（堀広一議長）議
員8人と事務局職員、医療関係
者の計12人が、比布町役場を訪
れました。

町からは、澁谷議長をはじめ、
伊藤町長、石川保健福祉課長、
大川議会事務局長らが出席し、
「病院の経営及び診療体制等につ
いて」をテーマとした意見交
換が行われました。

石川保健福祉課長から、地域
医療の現状と運営上の課題など
を説明した後、町立びっぶクリ
ニック（加藤一哉院長）に場
所を移し、院内で加藤院長から
診療体制等の説明がありました。
加藤院長は、質問等を受け、
丁寧に答えていました。

委員会の活動

activities

総務常任委員会

6月8日開催

【税務住民課】

《報告事項》

■平成28年度町税等の調定及び収入状況について

- ・町民税 (5月末現在)
 - 1億5143万2902円
 - 収納率93・99%
 - (以下%＝収納率)
- ・固定資産税
 - 1億2982万1080円
 - (97・49%)
- ・軽自動車税
 - 1272万5563円
 - (99・11%)
- ・たばこ税
 - 2648万1320円
 - (100%)
- ・国民健康保険税
 - 1億2124万8035円
 - (83・19%)
- ・介護保険料
 - 9576万400円
 - (99・26%)

・後期高齢者保険料

3613万6400円 (99・87%)

■上川広域滞納整理機構について(構成団体9町)

- ・鷹栖町・東神楽町・当麻町・比布町・愛別町・上川町・東川町・美瑛町・美深町
- ・全体引受件数 219件
- 1億3306万607円
- うち収入額 6479万4533円

・比布町引受状況 (48・69%)

18件 643万4513円

うち収入額 444万6798円 (69・10%)

■マイナンバーカード交付状況等について

・交付枚数 201枚 (5月末現在)

《協議事項》

▼比布町税条例等の一部改正(案)について

【保健福祉課】

《報告事項》

□福祉係

■平成28年度高齢者等の冬の生活支援事業状況について

・対象数 320世帯

・助成数 267世帯

・助成金額 267万円

■平成28年度高齢者宅門口除雪サービス利用状況について

・利用数 103世帯 (前年107世帯)

・出勤回数、郊外地区 26回 (前年43回)

・市街地区 20回 (前年30回)

■平成28年度高齢者移動支援(びびたく)利用状況について

・登録者数 117人 (前年106人)

・利用実数 1619回 (前年1572回)

・利用状況 日常50・28%、通院4・32%、集会20・69%、余暇24・72%

■平成28年度臨時福祉給付金等支給事業状況について

・平成29年度くるみ保育園入所児童数について 男児39人、女児50人 計89人(前年90人)

■平成28年度児童手当等支給状況について

■平成28年度障害者自立支援給付実績及び利用状況について

□保健係

■平成28年度健診等結果状況等について

・がん検診等受診状況について

□衛生係

■平成28年度合併浄化槽設置状況について

■平成28年度びっぷクリニク診療報酬等収納状況について

窓口件数 2万1695件

2460万9943円

・労災、介護等 439万3369円

・社会保険診療報酬 2799万2544円

・国保診療報酬 3億2525万9180円

・合計 3億8225万5036円

□介護保険係

■平成28年度介護保険特別会計決算見込について

・歳入見込額合計 5億9124万6591円

・歳出見込額合計 5億7828万8812円

・繰越見込額 1295万7779円 (前年1395万7343円)

■介護保険要介護認定者の状況について

■介護給付費の推移について

□地域包括支援センター

■平成28年度地域包括支援センター運営実績について

・総合相談支援業務について

- ・権利擁護業務について
- ・包括的・継続的ケアマネジメント支援業務について
- ・その他

■平成29年度地域包括支援センター事業計画について

■平成29年度介護予防事業について

□国保医療係

平成28年度国民健康保険特別会計決算見込みについて

・収入

6億6045万7725円

・支出

6億4625万1577円

・基金積立金

1300万円

・繰越見込額

120万6148円

■平成28年度後期高齢者医療特別会計決算見込みについて

■平成29年度国民健康保険税の賦課割合(案)について

・一人当たり調定額

13万6265円

・一世帯当たり調定額

21万6744円

■平成28年度国民健康保険医療費の状況について

費の状況について

《協議事項》

▼6月定例会提出議案について

・比布町国民健康保険条例の一部を改正する条例(案)に

ついて

・一般会計補正予算(案)について

・国民健康保険特別会計補正予算(案)について

・後期高齢者医療特別会計補正予算(案)について

・介護保険特別会計補正予算(案)について

・ママハタプロジェクト『赤ちゃん先生の取り組み』について

【生涯学習課】

《報告事項》

■平成29年度教育委員会機構図について

■平成29年度児童生徒数と学級編制数等について

○中央小学校 全校生徒146人

・1年生男児7人女児16人計23人

・2年生男児8人女児13人計21人

・3年生男児14人女児9人計23人

・4年生男児17人女児18人計35人

・5年生男児8人女児11人計19人

・6年生男児12人女児13人計25人

・普通教室6学級、特別支援学級4学級

・教職員数、定数18人、男性教諭10人、女性教諭8人、合計18人

○比布中学校 全校生徒83人

・1年生男子12人女子12人計24人

・2年生男子12人女子20人計32人

・3年生男子16人女子11人計27人

・普通教室3学級、特別支援学級3学級

・教職員数、定数17人、男性教諭12人、女性教諭5人、合計17人

■平成28年度学校給食費会計の決算状況について

■平成28年度社会教育施設の使用料等について

■平成28年度図書館の利用状況について

■平成29年度スポーツ少年団、公民館教室等の加入状況について

○スポーツ少年団 合計93人(13人増)

・野球少年団 21人(4人増)

・ソフトテニス少年団 37人(5人増)

・剣道少年団 22人(4人増)

・卓球少年団 13人(増減0)

○公民館教室合計32人(4人減)

・珠算教室 18人(1人増)

・書道教室 7人(増減なし)

・将棋クラブ 7人(5人減)

・スポーツクラブジュニア13人(4人減)

○児童クラブ 33人(2人増)

○白寿大学 92人(2人減)

■君の夢プロジェクト推進事業

について

○中学校修学旅行支援の部(4月25日～28日・首都圏)

・1日目 東京都庁見学、国会議事堂見学ほか

・2日目 首都圏キャリア研修

佐川急便、東京証券取引所ほか、東京比布会との交流会

・3日目 首都圏自主研修(5班編成) 明治神宮、原宿、六本木ヒルズ、江戸東京博物館

野球殿堂博物館、東京スカイツリー見学ほか

・4日目、東京デイズニースポーツ研修ほか

○部活支援の部

・剣道部5人(現在未決定)

・野球部11人(現在未決定)

・吹奏楽部17人(8月2日)

・東京クラリネットアンサンブル主宰・藤井一男氏による合奏指導・開催場所・中学校音楽室

・ソフトテニス部27人(現在未決定(技術指導・合宿・国際大会観戦希望)

・卓球部14人(現在未決定) 技術指導希望

■ほっかいどう学力向上『小中連携・一貫教育実践事業』について

■平成28年度比布町立中央小学

校・比布中学校連携計画について

目的、学習指導、生徒指導、生き方指導を小中学校が連携することにより、義務教育9年間で育成すべき児童・生徒の資質や能力を身につける。

■英語指導助手の活用について
■小・中・高校生等就学(援助)支援制度について

■比布中学校校舎等改築事業について

【総務企画課】

《報告事項》

■第2回議会定例会提出議案について

■町債について

・平成28年度決定分町債借入状況について

・過疎対策事業債

5億9020万円

ハード分 4億9710万円

ソフト分 9310万円

・臨時財政対策債

8425万5千円

・公営住宅建設事業債

西町駅前団地 320万円

くるみ団地 1億3980万円

・緊急防災、減災事業債

110万円

・簡易水道事業債 510万円

・特定環境保全公共下水道事業債 70万円

■平成28年度町債継続費について
・学校教育施設等整備事業費 2億10万円

■平成29年度町債申請状況について

・過疎対策事業債

3億7065万6千円

ハード分(簡水・下水含む)

3億742万8千円

ソフト分 6322万8千円

・臨時財政対策債8800万円

・公営住宅建設事業債

2億8792万8千円

・簡易水道事業債

7952万2千円

・特定環境保全公共下水道事業債

2289万円

■ふるさと納税について

目的別納税(寄附)金額

(平成20年からの累計)

・子育て教育

55件 868万3千円

・高齢者福祉

60件 215万8001円

・自然環境

31件 71万円

・産業振興

33件 1907万5千円

・その他 50件 638万5千円

・未記入 31件 936万8千円

・平成28年度 累計金額

260件(211人)
4640万9001円

■地方創生加速化交付金事業実績について

【目的】

一億総活躍社会の実現に向けた緊急対応として、「希望を生み出す強い経済」を実現するため、「地域のしごと創生、稼ぐ力、地方創生を推進する人材育成」に重点がおかれ、特に官民連携や民間活力の強化が重視されている。

【事業実績】

・比布町総合プロデュース事業委託業者、フリーパレット集

客研究所、委託料1500万円

・地元の魅力と発進力の強化、人材育成、町内団体や事業所

でのセミナーの開催、プロジェクトアドバイスほか

・まちづくり関連企業支援事業

新規起業支援・補助200万円

・(株)ぴっぷ商店、地元特産品の販売、新商品・特産品の開発・販売・発信

・移住定住希望者ニーズ調査委託業者、(社)道総合研究調査

会、委託料324万円

■地域おこし協力隊活動状況について

■友好交流事業について

東京比布会 6月24日開催

・札幌比布会 7月9日開催

・湖南省との交流事業 7月20日開催

■その他

・民間集合住宅入居状況について

・大雪山フォト・絵画グランプリについて

・ぴっぷ町プライダル大作戦について

・地方公会計(統一的な基準)の導入について

・比布駐在所の一時移転について

《協議事項》

▼政策連携会議の進め方について

▼第2回議会定例会提出議案について

・平成28年度比布町継続費繰越計算書について

・平成28年度比布町繰越明許費繰越計算書について

・補正予算(メール無害化対策)

産業建設常任委員会

6月5日開催

【農林部門】

《報告事項》

■農産物の作付状況について

・水稻主食米 前年比99・6%

・加工米 前年比343・2%
■作業受委託契約状況について
 比布町集落営農組織

小麦(秋) 3件、大豆2件、
 そば17件、小豆2件

■経営所得安定対策について
 平成29年度産地交付金配分
 (産地戦略枠+従来枠)
 配分予定額9897万5千円
 (昨年の8割)

■平成29年度比布町単独補助事業について

▽そ菜・花卉作付拡大推進事業(申請2件) ▽園芸用ハウス導入支援事業(申請6件)

▽いちごの活力創造事業(いちご苗購入費1/3補助) 措置額100万円 ▽青果物等振興

対策事業(申請4件) ▽家畜導入推奨事業 ▽農業機械リース事業

《協議事項》

▼農業対策室の執務概要について
 JAに設置して15年が経過し、現在国の農政事務等、農業従事者の方々へはワンストップなメニューがあります。一方で、町、JAの事務作業のウエート等の課題もあります。今年度を目途に検討してまいります。

【商工・観光部門】

《報告事項》

■平成29年度各観光施設の利用状況について

・平成29年度観光事業特別会計(びっぶスキー場)収支決算及び利用実績
 リフト使用料
 7812万3376円
 (昨年6435万1814円、
 前年比121・40%)
 うちナイター利用状況
 302万1540円

センターハウス新設の効果やリフト料金の改定により収入増、他施設と連携し新規利用者を増やすことが今後大事。

■平成28年度グリーンパークびっぶ収支決算

・使用料等508万6852円
 運営費1920万7310円
 差引 △1407万458円
 収入が600万円を割り、厳しい状況。利用者の減少、新たな利用者の獲得が必要等、管理委託料も含めて検討。

■平成28年度遊湯びっぶの利用状況(5月末現在)

・入浴者数、宿泊者数計
 8407人
 対前年同月比 92・2%

・町民利用促進事業(5月末日)

宴会500円・宿泊1000円
 割引き 累計21万1千円

■いちご狩り等、イベントの開催について

《協議事項》

▼良佳村再整備構想について
 平成10年に遊湯びっぶが完成し、平成12年にはグリーンパークびっぶの営業を開始しました。町の冬季雇用もあるスキー場は、昨年センターハウスの新設、イベントの増加等、多くの利用によりリフト収入も昨年以上の売り上げとなり、来期以降も期待ができます。一方で、夏季の利用は近年、パークゴルフ競技者人口の減少や遊湯びっぶの利用減少と入り込みが伸び悩んでいます。競合相手やターゲット層の見直しや仕掛け等、費用を費やさずにリニューアルを検討してまいります。

【建設課】

《報告事項》

■平成28年度町営住宅管理状況について

・管理戸数340戸
 空き住宅42戸(入居できない旧東団地も含む)

・平成28年度住宅使用料の収納率 98・21%

・平成28年度上下水道料金の収納率 98・88%

・簡易水道事業普及率状況

給水区域内人口 3786人

世帯数 1814世帯

給水人口 2844人

世帯数 1396世帯

普及率 75・1%

・公共下水道事業普及率

処理区域内人口 2473人

世帯数 1220世帯

排水設備・水洗便所設置人口 2430人

世帯数 1193世帯

区域内排水設備・水洗便所普及率 98・3%

町内総人口 3811人

普及率 64・9%

【農業委員会】

《報告事項》

■平成29年度農業委員会活動計画について

・具体的な活動計画

①担い手育成対策

②地域農業振興対策

③遊休農地対策

■農地法及び基盤強化法による農用地集積状況について

■改正法による農業委員の改選

と比布町農業委員会委員の任命について

◆◆◆ 議会のうごき ◆◆◆

5 月

- 8日 高規格旭川・紋別自動車道期成会総会
(紋別市、議長)
産業建設常任委員会 (役場、委員)
議会運営委員会 (役場、委員・議長)
第3回議会臨時会 (役場、全議員)
- 11日 比布商工会通常総会 (商工会館、議長)
- 22日 愛別町外3町塵芥処理組合議会臨時会
(愛別町、組合議員)

6 月

- 2日 上川地方総合開発期成会総会及び専門部会
(旭川市、議長)
- 5日 産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)
- 8日 総務常任委員会 (役場、委員・議長)
- 12日 議会運営委員会 (役場、委員・議長)
- 13日 全道町村議会議長会総会 (札幌市、議長)
- 14日 大雪消防組合議会臨時会 (美瑛町、組合議員)
- 15日 老人スポーツ大会 (町体育館、議長)
観光協会通常総会 (商工会館、議長)
- 16日 第2回議会定例会 (役場、全議員)

- 18日 自衛隊第2師団創立67周年・旭川駐屯地
開設65周年記念行事 (旭川市、議長)
- 22日 月形町議会行政視察来町 (役場、議長)
- 24日 東京比布会総会 (東京都、議長)
- 28~29日 上川町村議会議長会役員会 (上富良野町、議長)

7 月

- 4日 全道町村議会議員研修会 (札幌市、全議員)
- 6日 第4回大雪分会消防訓練大会 (愛別町、議長)
- 8日 北口ゆうこうと語る青空の集い
(士別市、議長)
- 9日 くるみ保育園運動会 (町体育館、議長)
札幌比布会総会 (札幌市、各議員・議長)
- 12日 議会広報特別委員会 (役場、委員)
- 19~21日 下田商工夏まつり (滋賀県湖南市、議長)
- 21日 議会広報特別委員会 (役場、正・副委員長)
第14回比布町社会福祉大会 (農村環境改善センター・各議員)
- 23日 自衛隊旭川地方本部創立11周年記念行事
(旭川市、議長)

ふまねっと運動 (ニシニシサロン)



ぴっぴお酒まつり



シンガーソングライター
詩子さん(北町在住)らが
コンサートを開催

久方ぶりとなる編集後記を執筆します。昨年の3月に比布駅舎が新装となり、交流スペースでは、ふまねっと運動やお酒の会、コンサートなど、さまざまな催しが開かれ、とても活気があります。

今までには考えつかないことでしたが、多くの方々に利用され、特に若い方の利用と発想によるもので、大変感心するところです。

以前から、人口の急減と札幌市へ一極集中の是非は語られていた課題でしたが、JR北海道でもその影響を受け、鉄道路線見直しが大きな関心と問題となっています。「維持困難路線を国費で残せ」との意見もあるようですが、人が乗車しない鉄道では、国民が納得しません。これまで、利用する工夫を怠った私どもにも責任はあると思っています。

地方創生は、地域の独自性を発信して伝えることとです。若い世代の方々とともに、地域の課題に取り組んでまいります。

(今井 明信)

◆ 編集後記 ◆